



東京會工会だより

創立110周年特別号

東京會工会事務局 埼玉県久喜市久喜本764-8 田中健一(42E) TEL 0480-21-6006

コロナ禍の同窓会活動



東京會工会会長

田中健一
(42年E卒)

桜前線が足早に北上し、各地で花の便りが聞かれる頃となりました。陽春の候、皆様健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また、常日頃より東京會工会運営にご支援・ご協力を賜り、皆様に感謝申し上げます。

さて十一年前、東京會工会は創立百周年でした。六月定例総会で記念式典を予定するも、三・一一東日本大震災で通常総会に縮小されました。

昨年は百十周年の節目の年。それなりに盛大な総会を考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症まん延の影響で開催する事も出来ませんでした。

令和元年十二月、中国武漢で原因不明の新型肺炎患者が確認され、令和二年に入ると日本始め世界各地で感染者が確認されるようになった。誰もが当初はインフルエンザのようなもので、直ぐに終息するだろうと思っていたのではないのでしょうか。WHOも楽観視していたようだが、その後、新型コロナウイルス感染症と認知されたが、治療薬もワクチンもなく不安な状況がしばらく続いた。

今では、三回目のワクチン接種が成人に行われている。更に子供達へのワクチン接種も実施されるようになった。治療薬も徐々にではあるが開発が進んできている。昨年春までとは安心感が大分変化してきたのではないだろうか。三月末の世界の感染者累計は四億九千万人、死者は六百十五万人。日本では感染者累計六百七十七万人、死者

三万人。一日五万人程感染者が発生しています。世界では感染対策緩和をする国が多くなってきました。日本人は緩和されたとしても、一気に開放感で動き出す事は無いだろうと思っています。慎重に行動する方が多いように思う。マスクを付けないと罰則のある国と違って、日本は自然と殆どの方がマスクを付けていました。おかげで周囲に風邪をひいた。という方は見かけませんでした。

さて、同窓会活動はと言うと、令和二年春から二年間何も出来なかった。

前述をしましたが、誰しもがそう長くは続かないだろう。と思っていたことと思います。しかし、重篤者が続出し死者増加、これはただ事では無いと思うようになりました。令和二年六月総会は、直前まで開催するつもりで準備を進めていました。もし、今年何もできなかったらこれまで協力して頂いておられた方々が、会から遠ざかって行ってしまうのではないかと心配で心配でたまりません。

福島県にもコロナまん延防止等特別処置法が発令され、それが三月六日まで延長されたために、今年二月二十八日の同窓会入会式は、同窓会長、筆頭副会長、幹事長の三名で執り行われました。東京會工会からは、例年卒業生にささやかな記念品を贈るため出席していましたが、今回は同窓会浅田会長に代行して頂きました。また、翌日三月一日の卒業式は、卒業生に寂しい思いをさせたのでないかと思えます。卒業式会場の南体育館には卒業生と父兄はそれぞれ一名、在校生は送辞者一名のみ、県関係・同窓会・PTA役員の来賓者は無し。私達からみると、本当にかわいそうな卒業式であったと思っています。

今年の東京會工会行事はコロナ禍対策を会場側と協議し、できる限り各行事を開催して行きたいと考えております。まだまだ都心の人混みの多いところへは出かけたくはない。と思われる方も多いかと思えます。各自の対策をとって頂くことは当然ですが、主催者側として会場の協力を得て、以前のような楽しい活動が行えるように努力いたします。多くの方が今まで同様、参加して頂ける事を願っております。

東京會工会の現状を報告させて頂きます。

会員は年々減少し、現在二百五十名の登録となっております。会員の平均年齢も計算したことはないのですが、七十歳を遙かに超えていると思われれます。昭和四十七年卒業以降の会員は皆無に等しい状態です。

現在、同窓会本部のご協力を頂きながら、同窓生の現住所把握をいかに進めるか、試行錯誤しているところです。同窓会会員でありながら、活動をご存じでない方もおられます。皆様のお知り合いの中に同窓生がおられましたら、事務局までお知らせ頂ければ有り難いです。皆様のご協力があったの「東京會工会」です。これからも宜しく願ひ致します。

「東京會工会だより」の
発行に寄せて



同窓会会長

浅田 誠

(43年E卒)

東京會工会の皆様方におかれましては、益々ご清栄の事と拝察し、心よりお慶び申し上げます。

振り返りますと、昨令和三年十月開催の第百十四回本部同窓会総会が、コロナ禍の影響により書面決裁による対応となり、重厚さに乏しさを感ずる状況ではなかったかと推察しているところでもあります。

しかしながら皆さまのご理解とご協力により、ほぼ満票に近い結果をもって、全議案を可決・承認頂きました事に対し、衷心より深く感謝を申し上げます。

この様な中、令和四・五年度の役員改選に於いては、浅学非才な私ではありますが、第二十代の会長職に就任させて頂く事になりました。経験も浅く、多くの先輩方に先立っての会長 職履行は、甚だ重責の念に駆られる思いであります。一年先輩である貴会の田中会長はじめ、行動を共にするメンバーが心強い方々ばかりですので、勇気と自信をもって職務遂行に取り組み決意

をしたところであります。今後とも引き続きご支援・ご協力を頂戴出来ますようよろしく願います。

とりわけ田中会長および戸野部幹事長他におかれましては、遠路足行く本部同窓会合会にご出席頂き、いつも建設的な発言・ご示唆を頂戴して下さることに對し、当紙面をお借りして心より厚く御礼を申し上げます。

さて、貴東京會工会の活動については、今いづこもコロナ禍で活動の実行が制限されているところですが、それがなければ貴会においては、恒例行事を遂行するにあたって、開催場所や内容等種々趣向を凝らして開催されておられる様子であり、他の模範的活動であると感服しておりますし、本部活動に於いても見習って一考すべきかとも感じているところです。

更なる活動の圧巻は、例年卒業式の前日に実施している「同窓会入会式」で卒業生全員に贈呈される『記念品』であります。

近年は時代のすう勢からクリアファイルに変更されましたが、印刷されている内容が、校歌・応援歌の歌詞全てに加え、本部会報で引用している格言が印刷されている事です。加えて同窓会の全国組織図の説明資料も同封されていることには、驚愕の思いでもありました。

更には、「同窓会連絡係」を通しての連絡網整備への協力要請をしたためられた書面まで準備されている事は、

本当に素晴らしい時宜を得た取り組みであると、感服した次第であります。

やはりこの様な取り組みの気付きの視点は、福島県工業学校同窓会（校友会）当時の先輩方の考えが継承されている所以であると確信したところでもあります。

以上のような事を踏まえ、本部同窓会の良き相談相手の同窓会組織として、ご支援・ご協力が頂けますよう、更には旧来の古参組織同志として励まし、助け合ってお互いに隆盛を極められますと共に、貴会の更なる発展を心からご祈念申し上げます。

共に頑張りましょう

《ミニミニ情報》

令和四年四月一日より、会工の制服がリニューアルされました。生徒会と企業が打合せを重ね、生徒の思いが詰まった新制服が完成しました。下の写真（会工HPより）です。三本線の入った学生帽は、平成の始め頃までは着用していたようですが、現在は着用されていません。

高梨哲夫校長が三月末で退職されました。後任に、いわき海星高校より松本善法先生が着任しました。なお、高梨校長は磐梯町教育長に就任されました。



下記QRコードを読み取ると、会工ホームページに入れます。同窓会のページもあります。



令和三年の会工



会津工業高等学校
校長 高梨 哲夫
(55年M科卒)

東京會工会の皆様には、日頃より母校の教育活動に御協力と御支援を賜りまして心より感謝申し上げます。

さて、令和三年二月二十六日に執り行われました本部同窓会入会式に、東京會工会を代表しまして田中会長にご出席頂き有り難うございました。その際、二二九名の新たな同窓生を温かくお迎えいただき感謝申し上げます。卒業生の県外就職者は六七名で、半数近くは関東方面に就職いたしますので、各企業で後輩が入社した際には、よろしくお願いいたします。

令和三年度は、新入生二〇〇名を迎え全校生徒は六六九名(男子五四七名女子一二二名)、全教職員九十一名の合計七六〇名で教育活動が始まりました。しかしながら、昨年の二月頃から拡大した新型コロナウイルス感染症に伴い、さまざまな教育活動に制約がございましたが、新しい生活様式を遵守しながら徐々にはありますが再開いたしました。卒業式・入学式を始め、競歩大会、企業説明会、中学生一日体験入学、インターシシップ、公開文化祭

修学旅行、遠足と制限を設けてですが何とか実施する事が出来ました。

四月十三日に開催された創立記念講話では、「SDGs 持続可能な世界を創るために、会工生に期待すること」と題して、各界で活躍されている方々から講話を頂きました。講師には、昭和五十五年三月卒業の同級生で同士で磐梯町町長佐藤淳一氏(C)、株式会社ISホールディングス代表取締役社長長遠藤昭二氏(M)、株式会社アークズ会津代表取締役征屋和久氏(K)、本校校長高梨哲夫(M)がMCを努めました。当初は、福島県会議員渡部優生氏(M)も参加予定でしたが、議会で残念ながら参加する事ができませんでした。SDGs 持続可能な世界を生徒達が切り開いて行くためには、何が必要で何を学ばなければならぬのか、生徒の更なる成長の基盤を創るきっかけになったと思います。

本校は今年創立百二十年を迎えるにあたり、制服を一新する事になりました。そこで、制服検討委員会を、同窓会・PTA・生徒会・教職員からの代表で立ち上げ検討しました。特に女子制服は、昭和四十二年四月に工業化学科に六名が入学した時のデザインのままでしたが、百二十年という節目の年に変更します。制服のデザインは、伊勢丹や日本航空のデザイナーとして活躍されている板倉久美氏と生徒会が数回にわたり打ち合わせを行い、制服を完成させました。昨年十二月二十三日

に制服完成披露会が南体育館で行われました。今年と同窓生やお世話になっている企業から、様々な形でご寄付頂きました。○会津土建株式会社様
建築科インテリア科にレベル二台
鈴木建設株式会社様
建築科インテリア科に左利き用ドラフター五台(高知県 S45A科卒)
株式会社社会津電気工事様
電気情報科に計測機器十五台
○八ッ橋設備株式会社
音楽室にエアコン設置、図書館に生徒希望の書籍
○株式会社マコト精機様
機械科に音響設備一式
○遠藤昭二様
校歌碑・校章
温水洗浄便座二十二台

今までの校歌碑は、三番まで彫り込んでありましたが、「會工百年史」に記載されている原典の校歌を四番まで刻みました。校章は、二年前に新調して頂いた校旗のデザインを、忠実に再現いたしました。九月二十四日に本校ロビー前で同窓会とPTAの役員のかたをはじめ、本校職員・生徒会に出席して頂き除幕式を行い、完成を祝いました。また、温水洗浄便座は県内県立高校では初めて、全ての生徒のトイレに設置されました。生徒、教職員、保護者を代表して御礼申し上げます。大切に参ります。

最後になりますが、本校が地域の方から大変期待されている学校であると益々実感しております。今後も、社会に貢献できる生徒の育成に努めていきたいと考えておりますので、今後も更なるご協力をお願い申し上げますと共に、東京會工会の益々のご発展されますことをご祈念申し上げます。



新たになった校歌碑と校章

令和4年度東京會工会顧問

名誉顧問	室井 忠六 (24T)	顧問	五十嵐清夫 (33K)	顧問	金子 昌輝 (32A)	
	顧問	石綿 弘 (34T)	顧問	岡島 文弘 (29C)	顧問	五十嵐昭夫 (35A)
	顧問	鵜川平四郎 (21L)	顧問	田場川善雄 (27M)		

令和4年度東京會工会役員

会 長	田中 健一 (42E)	会計幹事	鈴木 邦男 (40M)	常任幹事	大竹 光弥 (46C)
副 会 長	堀 雅宏 (36E)	会計幹事	内川 義則 (43E)	常任幹事	佐藤 賢二 (43G)
副 会 長	伊藤 孝行 (38M)	会計監事	邊見 輝夫 (34K)	常任幹事	松本 義重 (43G)
幹 事 長	戸野部武彦 (40M)	会計監事	山田 利廣 (43K)	常任幹事	渡部 俊一 (43G)
副幹事長	中島 政彦 (41G)	常任幹事	猪俣 和男 (41T)	常任幹事	坂本 栄吉 (40A)
副幹事長	渡部 雅俊 (44M)	常任幹事	石本 清八 (39K)	常任幹事	内芝 良吉 (46A)
副幹事長	水上 強 (46M)	常任幹事	佐藤 武 (37C)		

東京會工会の活動

一、令和3年度活動報告

令和3年度活動は、新型コロナウイルス感染症まん延のため、参加者の健康リスクを考慮し、ほとんどの活動が中止となりました。(白抜数字)

令和3年

① 4月18日(日) (浅草文化観光C)

第1回役員会

② 5月20日(木)

③ 5月 日(土) (未定)

④ 5月 日(土) (郡山市)

⑤ 5月22日(土) (神田)

⑥ 6月18日(土) (上野・精養軒)

⑦ 6月 日() (大阪市)

⑧ 6月 日() (名古屋市)

⑨ 7月14日(水) (母校)

⑩ 7月17日(土) (浅草文化観光C)

⑪ 9月4日(土) (鎌ヶ谷市大山園)

⑫ 9月19日(日) (上野・精養軒)

⑬ 9月26日(日) (湘南台弁慶果樹園)

ぶどう狩りと芋煮&BBQ

⑭ 10月 日() (上野・精養軒)

東京若商會總會

⑮ 10月16日(土) (会津若松市)

会工同窓會本部總會

⑯ 10月22日(金) (富士平原GC)

⑰ 11月11日(木) (母校)

創立百二十年記念事業実行委員会

⑱ 11月23日(火) (浅草文化観光C)

第3回役員会

令和4年

⑲ 1月20日(金) (東京・巣鴨)

松江春次翁墓参

⑳ 1月22日(土) (場所未定)

顧問・幹事合同新年会

㉑ 2月16日(水) (母校)

創立百二十年記念事業実行委員会

㉒ 2月28日(月) (会津工業高等学校)

同窓会入会式(二二九名) 【欠席】

卒業生にクリアファイル贈呈・PR

㉓ 3月1日(火) (会津工業高等学校)

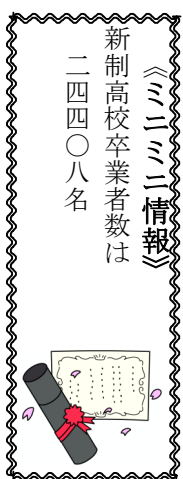
母校卒業式 【欠席】

㉔ 3月12日(土)

第4回役員会

《ミニミニ情報》

新制高校卒業生数は
二四四〇八名



二、令和4年度活動(案)

令和4年度活動は、2年間のプランクを打破するため、例年通りの開催を

計画いたしました。新型コロナウイルス感染症の状況によっては一部活動を中止する事もあります。

令和4年

- ① 4月20日(水) 会報「東京會工会だより」24号発行
- ② 4月23日(土) (浅草文化観光C) 第1回役員会
- ③ 5月 日() 中止 第33回東地区ゴルフコンペ
- ④ 5月 日() (母校) 創立百二十年記念事業実行委員会
- ⑤ 5月21日(土)(神田ソーシャル棋苑) 第4回囲碁・将棋大会
- ⑥ 6月11日(土) (上野・精養軒) 東京若商会総会
- ⑦ 6月12日(日) (上野・精養軒) 在京会津高校同窓会総会
- ⑧ 6月18日(土) (上野・精養軒) 東京會工会総会
- ⑨ 6月19日(日) (名古屋市) 東海會工会総会
- ⑩ 7月16日(土) (浅草文化観光C) 第2回役員会
- ⑪ 9月3日(土) (鎌ヶ谷市大山園) 梨狩り
- ⑫ 9月25日(日)(湘南台・弁慶果樹園) ぶどう狩りと芋煮&BBQ
- ⑬ 10月15日(土) (会津工業高等学校) 会工創立百二十年記念式典
- ⑭ 10月15日(土) (会津若松市) 本部同窓会総会
- ⑮ 10月21日(金) (富士平原GC) 第19回西地区ゴルフ大会

- ⑯ 12月3日(土) (浅草文化観光C) 第3回役員会

令和5年

- ⑰ 1月21日(土)(場所未定) 顧問・役員合同新年会
- ⑱ 2月28日(金) (会津工業高等学校) 同窓会入会式 卒業生にクリアファイル贈呈・PR
- ⑲ 3月1日(土) (会津工業高等学校) 母校卒業式
- ⑳ 3月11日(土) 第4回役員会

登戸河畔での芋煮会



星 陽一 (40年E卒)

登戸駅から近くの多摩川河畔の茶店大黒屋は、世田谷通りに繋がる多摩水道橋と小田急線鉄橋に挟まれた眺望がよい場所に位置していた。電車や車好きには嬉しい所でもあった。晴れの日は隣の広場や河川敷に広がっての話合いや、荒井士郎前会長長夫妻が焼き温めてくれた滝沢峠強清水の天ぷらや南会津の酒を食し、ビンゴゲーム、校歌斉唱、そして頑張れ頑張れ応援歌で仕上げていたものだ。

登戸での芋煮会は、雨が降った時で

も楽しかった。コロナウイルス騒ぎの今では考えられない、茶店の中は超過密である。狭い茶店の敷敷に膝を突き合わせて座り話し合うのである。



大黒屋店内での懇親

こんな事もあった。参加者名簿で、私が若松市三之町出身であることを知られた方が話しかけてこられた。赤羽さんと鶴川さんである。何と三之町OBの大先輩であられた。私が生まれる前年、昭和二十年に人の面倒を見すぎで亡くなったと聞いていた祖父には、町内で大変世話になったとのこと。また、私が以前から不思議に感じていた他の町内には無い小さな消防ポンプ小屋が、私の家と下の親戚の二箇所だけ設置したのも、祖父だと知った事には長年の疑問が解けて嬉しかった。

三之町に今でもある鈴善商店の中央通り側に、「漆の辻」の石碑があるが、ここより中央通り寄りに下の親戚宅があった。鈴善商店の向かい側に、鈴善の車庫があったが、その両側の左隣が先輩の家。右側が会工国語の教員であった佐藤不二夫先生の家。その末っ子が私と同年だった。今は鈴善商店のみあるが、先輩の皆さんお元氣かなあ。



多摩川土手で校歌斉唱

鈴善商店は鈴木善九郎商店が正式名称だが、善九郎さんは会工の校庭を寄付された方であることは皆さんご存じでしょう。今では、登戸そのものが大きく変わってしまっ、以前を思い出すのは多摩水道橋と小田急線鉄橋に挟まれたアングルのみだ。

五十嵐栄さんを忍ぶ



前幹事長
五十嵐 昭夫
(35年A卒)

五十嵐栄氏(24T)のご逝去、謹んでお悔やみ申し上げます。

健闘を稱える

青春の汗を流せ

そして

いつまでも

青春であれ

同窓会入会式で長年に亘り、記念品として東京会工会より贈呈していただきましたタオルの筆者です。

平成二年組織再生復活、現在の東京会工会は、五十嵐栄さんの尽力の賜です。井上真一(15C)前会長より、自分の同期の室井忠六氏(24T)に会長職が引き継がれたのです。

五十嵐栄さんが在学時代の在京関係者を中心に、またOBで社会活躍する人脈を数年かけて、各会社等に足を運びました。精力的な努力は計り知れないものがあります。

二百三十頁におよぶ「創立八十周年記念誌」発行の編集長をされた五十嵐栄さんを偲び、この度読み返してみま

した。

在学中は軍需工場へ、学校復帰整備生徒会長の要職、戦後の祭典、第一回会工祭には助監督として演劇発表会。それが大好評で、これが会津方部高校演劇部結成の端緒先輩だった俳優の佐藤慶(20T)さんとの事。(我が青春抄より)

自分と五十嵐栄さんとの出会いは、浦和に会津出身創業者の土建屋があり、建築科卒が大勢活躍(当時十五名)と聞き、会社を訪ねて来てくれました。私達は現場担当でなかなかタイミンが合わず、何度目かに先輩達と共に会うことが出来ました。先輩達は会費の集金と勘違いしていました。

何回か訪ねてこられているうちに、五十嵐栄さんの母校と同窓会への思いと情熱に、自分たちは感動したのでした。設立準備委員会から出席させて頂き、とにかく何かお手伝いしなければと思ひ、総会の舞台の「東京会工会総会」の看板を作らせて戴きました。

平成二年、創立八十周年記念東京会工会総会が、浅草ニューオオタニ会館で開催されました。井上真一会長の喜びの感激あまりの涙の勇退挨拶を未だに思い出されます。

五十嵐栄さんに、「おまえは高校時代応援団長だったんだから、懇親会の校歌斉唱のタクトを振れ」と命令され、嬉しくて思いきり第四小節まで歌い、これが始まりで上野精養軒の壇上に繋がり、芋煮会などあらゆる会工会の集

まりで、校歌と応援歌を指揮する栄光に恵まれました。会工同窓会総会、母校九十周年・百周年記念式典の大舞台で、昭和三十四年度応援団長そして東京会工会幹事長と紹介されるのでした。まだ、上野精養軒で総会を始めた頃、大先輩に「五十嵐は会を盛り上げる立役者になってくれ」と励まされ、調子に乗って二十年間も近畿会工会まで出しゃばった。



東京会工会総会当日は、近くの荒川土手で上野の杜に向かってその時間頃大きな声で応援歌。河川敷のゴルフプレーヤーが立ち止まり聞いてくれますよ、汗か雫が頬を流れるのです。
会工二十年代卒業室井会長・赤津会長、三十年代卒業荒井会長、四十年代卒業田中会長と引き継がれていますが、時代の移り変わりに応じて努力されてきました。

当時、関東に就職した新卒者の激励会を浅草雷会館で開催され、自分も出席し、井沢八郎の「あー上野駅」の歌詞、♪どこかに故郷の香りを乗せて、時代の体験談を話した事もあった。

あれから三十年、今の時代ホームページも開設されて情報社会になりました。しかし、現在はコロナ禍で何もかも停滞して総会も開けず、同窓生が疎遠になることが心配されますが、四十年代卒業・五十年代卒業も現役終了。高齢者の楽しみみの会、魅力的な東京会工会にして頂けるかと思う自分です。

故五十嵐栄さんの並々ならぬ努力に感謝し、東京会工会の益々の発展を祈ります。

頑張れ 頑張れ

頑張れ 健男児

栄えある健児よ

昭和三十四年度 応援団長

松江春次翁墓参



副幹事長
渡部 雅俊
(44年M卒)

東京會工会は、令和三年度に創立百周年の節目を迎えました。明治四十四年九月に植村寅生氏（明40丁）等により創立されました本会ですが、戦中から戦後に掛けて一時休止期間はありましたが、先輩諸兄のご尽力で、今日まで継続する事ができました。

本来なら皆様でお祝いをするところですが、この二年間は新型コロナウイルス感染症拡大により、総会や各種行事は全て自粛（中止）となってしまうまい。残念ではありますが、この状況下では、それやむを得ない判断だと受け止めました。ただ、何か記念になる行事を実施したいの思いから、今回の「松江春次翁墓参」となりました。



松江春次翁像（会工中庭）

松江春次翁（明治九年一月〜昭和五十九年十一月）の詳しい事績は省略させていただきますが、母校の機械科（昭和十四年福島県で最初の機械科）に多額の資金（現在の貨幣換算で三億円以上）を寄付して頂いた大恩人で、今でも中庭（私の在学時代は、正門右側に設置）で生徒の活躍を見守っています。

松江春次翁の墓所については、今から三年ほど前に、JR山手線巢鴨駅近くの染井霊園にあることを知りました。



松江春次翁墓所（染井霊園）

私は、今までに二度ほど墓参をしたことがありましたが、今回は東京會工会の役員有志としての墓参となりました。墓参は、年が明けた一月二十一日に実施しました。当日は晴天に恵まれた

中、JR巢鴨駅に集合しました。参加者は右写真の五名で、左から戸野部幹事長（40M）、筆者（44M）、邊見会計監事（34K）、田中会長（42E）、鈴木会計幹事（40M）でした。

松江春次翁の眠る染井霊園は、駅から徒歩十分ほどの場所にあり、白山通り側の巢鴨門から霊園にはいると、奥にある霊園事務所の近くに墓所（1種口2号4側）があります。お花を供え、線香をあげ、ご冥福をお祈りすると共に感謝の意を込めて参加者全員で合掌しました。

この霊園のある染井地区は江戸時代末期に品種改良して広めた桜、ソメイヨシノの発祥の地で、霊園にも数本のソメイヨシノが植えられています。また、この霊園には、幕末桑名藩主の松平定敬（会津藩主・松平容保の弟）、二葉亭四迷、岡倉天心、高村光雲・光太郎・智恵子、他に会津出身で、小公子の翻訳で有名な若松賤子（しずこ）等の著名人の墓所もあります。

墓参後は、とげぬき地蔵として有名な高岩寺を参拝し、地藏通り商店街（おばあちゃんの商店街）を散策し、名物の塩大福をお土産に買い、帰路に就きました。

ガマの油売り口上



小檜山 敏
(39年M卒)

『サア、サアお立ち合い御用とお急ぎでない方はゆつくりと聞いておいで、見ておいで・・・』
手前のこれは陣中膏は「ガマの油だ！」

威勢良く声張り上げるこの口上を聞いたことはありませんか？

東日本大震災で、浪江での勤務が無くなり無職となった。特別何もする事がない日々のそんな時、「余生の生き方」と言う本で三大重要項目は、

- ① いつでもどんなことでも良いから一旗揚げるつもりで何かに取り組め
- ② 人に迷惑をかけるな！
- ③ 延命治療は受けるな！ であると。そんな訳で何かないものかと漠然と考えていたところ、平成二十九年秋に新聞で「ガマの油売り口上研究会」の受講生募集記事を見て、どんなものか興味半分で筑波山麓の会場へ出かけた。

週一×四回受講し入会することにした。我が家から車で二十分ほどの所に水戸教室があるのが決めてだった。



水戸教室は、代表以下六十五歳以上二十数人で、約半数が女性です。職歴は多彩で話題も豊富な新しい仲間と楽しく月一回の練習を重ね、令和二年秋のデビュー審査会でパスすることができました。

水戸教室は、国営ひたち海浜公園の四月ネモフィラ、十月のコキアでの各四日間（一日四回）の公演をメインとし、そのほか各種団体、施設や地区のお祭り等々から声が掛ければ手分けして出張し演じている。

令和三年はコロナ禍でことごとく中止となったが、昨年はネモフィラ・コキア各二日の公演となり、私はネモフィラでデビュー出演となった。聴衆は約百二十人だった。因みに海浜公園は拙宅から直線距離で約四キロメートル。その後、秋の県民の日には県植物園



で、そして十二月には一寸とした縁で岩手県北上市市民会館で演じた。また、今年もネモフィラで演じる事になった。

『陣中膏（戦場で用いられた塗り薬）はガマの油だ！』と言うガマ油は、関ヶ原の決戦後も大阪城に残る豊臣残党殲滅の一六一五年「大阪の陣」で用いられ、良く効くと評判になった。しかし、大阪の陣以後幕府は安定し、大きな戦いも無く平和になり、ガマの油の需要は激減した。

千七百年頃新治の郡、現在の土浦市永井集落の百姓のせがれ兵助は、生まれた在所に昔から伝わるガマの油の効能を良く分かってきた。そこで、売り方次第で金儲けができるかと考えた。

この時代知名度の低い物品は直接対面販売が主流で、大道香具師によるもので、大通りで小間物を広げ、通行人に向かって呼びかけて売る方法だ。ふうてんの寅さんがその例だ。兵助はその口上を考案した。コンセプトは言葉巧みに、いい加減なことを、調子良く客の反応を見ながら、その場の雰囲気によりアドリブ、ギャグで笑わせ、口上が終わったら買いたくなるように流れた。兵助は粘り強い試行錯誤を重ねた結果、次第に広く各地に伝わっていった。

現在に伝わる口上は、地元の有志が郷土無形芸能文化財として、後世に伝えるべく二代目永井兵助を立て活動を続けた。現在は第二十代永井兵助を頂点として伝承する会、語り継ぐ会等々

あり個別に活動している。私はその研究会所属である。

二十年前妻を亡くした。二人の息子は高校卒業後県外に出て行き、以来独居生活だ。生活目標は、ウォーキング、山登りなどでの脊柱管狭窄症改善や体力維持と交友の幅を大切に、読書他でボケ防止で、他人には元より息子達にも迷惑を掛けないようピンピンコロリ（PPK）を目標に生活している。

茨城に住んで六十年。ある民間会社の全国四十七都道府県魅力度ランキング調査で、なんと七年連続四十七位、一昨年栃木県と入れ替わり四十二位になったが、昨年は元の四十七位の定位置に。「最下位が何故か落ち着く県民性」。そう、どう見られようと住み心地は良いと満足している。

恩師に巡り会えて そして圧延機と五十二年



幹事長
戸野部 武彦
(40年M卒)

就職先は漠然と横浜と決めて大型機械を製造している会社、大学にも行けるところ等を頭に浮かべ、前年度の機械科長・佐藤頭二先生に相談に乗って頂

きました。先生は磐越西線関都駅から乗られていました。小生は猪苗代駅から乗り、時々お話をさせて頂きました。先生は横浜国大航空学科を卒業。会工には昭和二十六年〜三十九年三月まで勤務され、その後、平高専に転勤になられました。なお、東京會工会が結成された明治四十四年は、奇しくも横浜港のシンボル「赤レンガ倉庫」が竣工して百十一年とのテレビ特集がありました。

恩師には、先輩川井秀男氏（38M）もいる芝浦共同工業（SEICO）を勧められ入社しました。大型機械とは圧延機でした。圧延機と言っても小型から厚板圧延機まであり、最大の厚板圧延機は圧延幅五四〇〇ミリ、鑄鋼製ハウジング一個の重量が三百トン、ロールを介して二個のハウジングで圧延荷重九千トンを支えます。ハウジングの伸び、ロールの撓みを勘案して板厚の制御は一ミクロン（ μ ）まで行います。また、熱間帯鋼圧延ラインの長さは、今でこそ五百メートルですが、昭和四十四年当時は約千五百メートルもありました。

入社後、詳細設計部に所属し、また会社奨学生となり芝浦工大に入学。数年後基本設計部を希望し、弾塑性学の分野まで知識が広がりました。一方会社の方は圧延機専門メーカーであったため、入社三年目に専業メーカーの優位性を保って石川島播磨重工業（現IHI）と合併しました。

カーが参加している日本鉄鋼協(学会)があり、平成5年頃神戸で川崎製鉄(現在のJFEスチール)の北口(旧姓鈴木)清文君と卒業以来の再会。残念ながら約三年後に訃報を受けました。小生の専門は冷間圧延機で冷延薄鋼板ですが、伸鋼・アルミも基本的には大差がないので、後年三菱マテリアル(旧玉川機械金属)の圧延機の改造更新を担当し、同窓生の方々と親交を結ぶことが出来ました。

平成二十五年には三菱日立製鉄機械(株)と事業統合され、かつての競合メーカーの方々と机を並べました。更にPT(Primetals Technologies)となり、主要工場は日本、オーストリア、本社は英国、筆頭株主は三菱重工。日本ではPTJ(Primetals Technologies Japan)(株)として事業再開。平成二十八年に退社、五十二年の間、圧延機と付き合い、古希を迎えていました。

入社当時から圧延機は国際入札でした。基本設計部に異動した昭和五十八年は『おしん』テレビ放映。その期間中はギリシャ向け圧延機の据付工事指導員として、十三ヶ月間派遣されました。

四スタンド四段冷間圧延機で鑄鋼製ハウジング八本(@百二十トン)、モーター容量は四スタンド合計二万キロワット、冷間と言えども最終的にストリップ(鋼帯)温度は二百℃以上に上昇、潤滑と冷却のための水量は毎分二万リットル、地上の機械面積五十m×四十m

(モーター倉)、地下室四十m×三十m(油圧、冷却水タンク等)、据付工事はイタリアの会社、日本からの据付工事指導員は最多時には商社を含めて二十数名になりました。

休日には車で数度の観光を楽しみました。あるときは浜辺でバーベキュー(ギリシャ人はウニを食べないので棧橋脇の膝上程の水深、一平方メートルに黒々と十個ほどのウニ)、あるときはシクラメンの原生地へ。またエーゲ海で海水浴を楽しみました。

その後の商談(技術説明後入札)で、カナダ・トルコ・タイ・インド・中国・韓国等に出かけました。

恩師に勧められて入った会社で古希までの仕事となり、特許も文献も出すことが出来ました。

なお、佐藤顕二先生は平成二十四年八月に八十五歳で永眠されました。

豪雪地帯から名残雪の世界へ



杉原 努
(40年M卒)

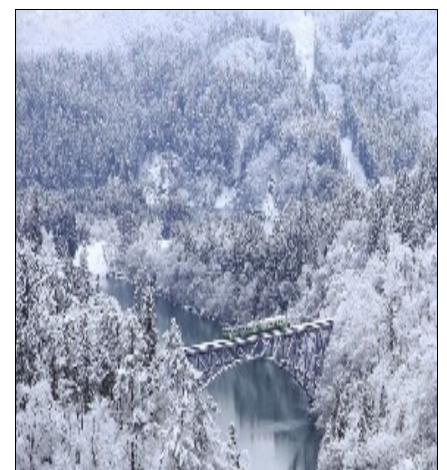
校歌「嶺は秀づる磐梯山、水は湛ふる猪苗代・・・」と気分爽快な日は鼻歌に出てきますが、私の生まれた故

郷は生憎会津盆地の中ではなく、「時嶺は険しくも・・・」という表現がピッタリの只見川沿いの集落「会津宮下」です。当時、宮下駅は国鉄会津線の終点で、駅員さん達がゆつくりと百八十度の手廻し方向転換機を押して、蒸気機関車を翌日始発に使う為の準備風景を目にしたものです。また、生まれた故郷の春は、「北国の春」そのもので山中は「こぶし咲く」一色でした。

ところで、今年の春の選抜高校野球大会に「只見高校」が二〇二二年特別枠で出場するというニュースには、吃驚しました。豪雪地帯のハンディがありますが、喜ばしい限りで、テレビに張り付けて応援しようと思います。

私が会津工業高校の機械科に入学したのは、昭和三十七年の春でした。通学は前述の片道二時間の蒸気機関車で、途中トンネルに入ると、窓から石炭カスやコークスの臭いが入ってきて閉口したものです。その頃、東京では間もなく「東海道新幹線」が時速二百キロメートル台のスピードで運行と言う話で、技術の進歩には感心しましたが、我が会津線は十分の一でこの格差は余りに酷いと思つたものです。然もその後地域格差が益々拡大し、東京・大阪間の「リニア新幹線」が着工するとは想像もつきませんでした。

私のサラリーマン人生は、旭硝子(株)在籍の延べ四十五年間になります。その間、高度経済成長による好景気も



当然ありますが、逆に不景気もあり入社即のオリンピック不況から始まり、オイルショック・バブル崩壊・アジア通貨危機・リーマンショックと不況によるリストラを経験し、会社の将来を危惧したものです。

そんなときに「東京會工会」を知り、入会したのは二〇〇三年です。工場時代の「三交代勤務」と、その後の営業勤務のため転勤の連続の後、横浜の自宅に定住が可能となり、会工同窓生の顔が恋しくなつて、初めて上野精養軒での総会に出席しました。

総会出席により、約四十年ぶりに同窓生と再会し、旧交を温めました。それからは毎年の行事参加により、いろいろな催しがあり、その中でも登戸多摩川の河川敷における大黒屋さんのバーベキューが最も楽しい一時でした。郷里の地酒を芋煮や焼き鳥などの珍味を肴にして頂き、子供連れの会員と談笑し、「ビンゴ」を引き当て豪華な賞品をもらうのが最高の楽しみでした。

戦国時代の武将・織田信長は桶狭間の合戦に先立って、「人間五十年、下天の内をくらぶれば、夢まぼろしの如くなり」と謡いながら舞ったと言います。それに較べれば戦後の経済成長・医療技術の進歩により、日本人男性の平均寿命は八十一歳の長きに至り慶賀の至極です。

最近「コロナ禍」により、全ての行動や行事が中断を余儀なくされ、残念ですが、この災難を乗り越え「東京會工会同窓会」が今後益々発展する事を祈念します。

荒井 雅宏 副会長



副会長
堀 雅宏
(36年M卒)

「人生は出会いである」と言われます。東京會工会の中でも沢山の出会いがあるとありますが、私は前会長の荒井 雅宏さんについて記してみたいと思います。

水泳の池江璃花子選手の病気からの回復の報道に接するたびに、今だから医学が進歩しているのにと悔やみながら荒井さんの事が思い出されました。一つは個人的な事になりますが、荒井さんは川崎市中原区でご自分で立ち

上げられた会社を経営しておられ、今は当時、横浜国大で環境教育のためにフロンによるオゾン層破壊や、地球温暖化ガスの効果を実験して見せられる「モデル実験装置の開発」を研究テーマの一つにしています。その製品化を荒井さんと一緒にさせて頂く中で、研究室に来て頂いたり、私が工場に伺ったり、同窓会以外の事にもいろいろなお話をすることがありました。

勿論製品化はうまく行きましたが、お願いしたアクリル樹脂加工の仕事の丁寧さに感心しました。このほかにお互いの関心が一致したものをいくつやららせて頂き、うまく行かないものもありましたが、損得を度外視して熱意をもってやってくださり、今でもありがたく思っています。

もう一つは、母校校庭等への桜植樹が思い出されます。荒井会長が募金を呼びかけられ、私も後から一口加わらせていたのですが、東京會工会と母校を結びつけ、歴代の在校生にも触れてもらえるとして実現にこぎ着けられました。桜は国花でもありますが、荒井さんは銅像などよりもっと広く親しまれ、愛でられる桜の方こそふさわしいと考えておられました。

個人情報保護法の壁で同窓会運営はやりにくくなって久しく、今はさらにインターネット隆盛の時代になりました。手紙と電話の時代に始められた同窓会ですが、今の時代の同窓会のあり方や存在意義、進め方を改めて考え直

して見たいものです。

荒井さんが会長であられたときの東京會工会創立百周年記念誌を読みながら、歴代の役員や会員の方達が続けて来られたこの東京會工会を、これからも絶やすこと無く続けて行かなければと改めて思いました。

恩師の言葉と我が人生



会計幹事
鈴木 邦男
(40年M卒)

昭和三十七年春、入学年度の諸行事で、佐藤頭二科長が折に触れ「フロンティアスピリッツ」の気概を持つこと。二・三年生では、坂内磐雄科長が、授業の締めくくりに戦時中の空中戦の話と共に、いつも「鶏頭と成るも、牛後と成るなかれ」と話されておりました。

40 M級友の殆どが、担任の山口孝宣先生の進路指導のもと、上場企業へ就職する事が出来ました。小生は、就職誌情報の「開発力の旺盛なるM社」キャッチコピーから応募、機械科と精密機械科の三名で受験し二名合格。名古屋の工場へ二名で赴任しました。

一週間の集団教育後の配属先は、技術系出身にも拘わらず、営業部の辞令に驚愕致しました。皆は技術部や製造

部へ配属。寮に帰って職場や母校の先輩が挨拶に見え、若干安心しました。電話対応で言葉(会津弁)で不自由。計算では一円単位まで算出(計算尺の有効数字三桁・四桁では不可、筆算で対応)等と苦労しました。

物作りは、工事命令書で設計・製造部署を動かす立場で、上司・同僚先輩の指導のもと、勤務時間外の早朝や定刻後も楽しく仕事をさせて頂きました。注文書を入力すれば工事命令の起点、何らかの指示・処置をしなければならぬ流れで、個人の自由度は少なく、休暇も取りにくく身体を壊す人もいる職場環境でした。

一方、大学卒が多数で学閥も見えてきた二・三年目には、八万人のうちの一人で生涯を終えて良いものかと悩み、母校や会津高校へ大学進学等の相談に行きました。企業の問題・課題は、自らの改善努力がBogeyとのご意見を頂きました。

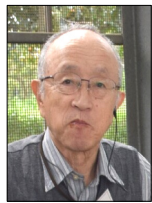
佐藤先生や坂内先生の言葉を何時も思い出し入社四年半後、多くの顧客・見込み客の方々に会って、生の知識・知恵を学びつつ仕事を創造、自由度や自己責任の高いメーカー業務の経験を生かせる中小商社へ転職。技術営業職の道へ進む事としました。

三十五年弱の商社時代は、顧客・メーカーに代わって各種産業技術展示会見学を通して、時代の風向きを感じながら商品・産業機械装置の動向把握に努めました。これらの動向情報をメーカー

へ報告、共々に新製品の開発の一助へ努めました。顧客へは、機械装置に見合った機器・システムを種々提案、顧客と共に装置を創る考えで仕事を進め、完成時は満足度の高い職場でした。

定年間近には、小学校時よりの夢であつた自営業をするべく、個人事業主として独立しました。従来に増して自由度が増えたため、殆ど関係展示会を見学して、顧客へ新製品提案をして駆動制御システム構成、世界にない機械装置(電池製造プレスロール機)等を顧客と共に創り上げ、世界へ普及する事になり感慨深く感じています。恩師の言葉に沿って、楽しい人生を送れる事に感謝している次第です

全校生マラソン大会



常任幹事
石本 清八
(39年K卒)

昭和三十六年入学の年に全校マラソン大会があり、昨今のコロナ禍の時代に青春を過ごされた先輩を含め、大会に参加された方々が当時を思い出して心の中で走ってみませんか。

コースは、学校から門田町面川を折り返し、学校まで約十三キロメートルです。途中の通過点は順次説明します。

校庭に約千名が横一線に並びました。ポイントは如何に狭い校門を抜けるかです。さあー号砲が鳴りました。一気に校門をめがけて走り出しました。

「アッ！」校門横の細道を走って行きます。アッ！川に落ちる生徒もいます。校門は団子状態です。先頭集団は市役所に向かう通りと、甲賀町からくる通りの交差点を左折しお城に向かいます。直進すると城内の北出丸に行くので入り口で右折し、裁判所や若女前を走り抜けると交差点があり日光街道に入ります。

さあ、これから面川の折り返し地点まで一本道です。左側に西出丸のお堀が現れました。お堀の程左に若商へ行く道があります。先頭はお堀を通過して、十八蔵橋にかかります。ここは会津蔵の物資を貯えるための蔵があつた。先頭はあつと言う間に湯川大橋を渡りきります。上流には復路に渡る小田橋があります。

さて、後方はどうなっていますか。まだ西出丸のお堀のあたりです。先頭は十四・五名位で間もなく会津高校のある表町を通過しますが、この先門田町までの一キロ半は、家並みが途切れ田畑が続きます。門田小学校が見えてきました。先頭集団から少しづつ後れだした走者が出てきました。

小学校を過ぎると、面川まで約三キロ半で再び田畑が続きます。面川では通過証明のため、マジックインクで印が腕などに書かれます。

さあ、急な折り返しを過ぎると復路となります。小田橋まで約五キロメートルの道のりです。山添を走るため距離感が長く感じられます。左手田畑の奥に面川に向かう集団が見え、大分縦長となっています。「咽が渴くなあー」

当時は水分補給などなかったと思う。さて、先頭は今どのあたりですか？小田橋を渡り県立病院を過ぎたところ。約七名が走っています。学校まであと五分位でゴールでしょう。やはり街中に入ってくると学校までの距離も縮まります。先頭は先を争い、校門に入ってゴールです。私も間もなくゴールです。

「アアーくたびっちゃ！」

《ミニミニ情報》

二〇一〇年の第五十八回マラソン大会を最後に、東日本大震災で中断。その後強歩大会と名を変えて、阿賀川河川敷の本郷大橋を起点に十五キロほど走っていました。二〇一五年六月からは、蟹川橋を起点に本郷大橋折り返し十二キロ。順位も付けていたそうです。そして、二〇二一年からはコロナ禍対策で密を避け、高田橋往復の七キロをウォーキングする事になりました。



○この時の一位から三位は誰だったのでしょうか？ 皆さんはこの大会で何番だったですか・・・
○他の年の大会で皆さんは何番でした？
○あなたは何番？ エッ・・・私ですか八番でした。
昔は交通量も少ないので大会が行えたとおもいます。今も全校生マラソンは行われているのでしょうか？

私とブルーインパルス

吉野 悟
(41年M卒)

我が家は埼玉県の狭山市にあります。勤務していた石川島播磨重工(現IH I)の東京田無工場から、電車を利用して一時間弱の場所にあります。

何としても二十代のうちに家を持ちたいと頑張つて、ギリギリ二十九歳で築五年の中古の家を手に入れることが出来ました。その家も、その後何回かの増改築と修繕を経て、私の定年過ぎまでの約三十五年間、何とか持ち堪えてくれました。

しかし、残念ながら下水管などの痛みが著しく、立て替えざるを得なくなつてしまいました。立て替えに際し、妻に三つの条件を提示し、無理やり承諾させました。



一、孫達が遊びに来たとき、泊まれる部屋を作ること。
 二、薪ストーブを設置すること。
 三、屋上を設けること。
 それ以外は全て妻の希望に従うものとする。以上

というものです。
 実はこの屋上、ブルーインパルスの演技飛行を観るためのものなのです。我が家から南西約三キロメートルの所に航空自衛隊の入間基地があり、毎年十一月三日の文化の日には航空祭が開催されます。我が家の上空を、メイン空域として繰り広げられる演技は圧巻です。

実はこのブルーインパルス、使用している機体は川崎重工製のT4であり、力強く推力を発揮しているジェットエンジンはIH1が開発し、製造しているF3なのです。この飛行機は百パーセント国産の極めて優秀なものです。
 このF3エンジンの他に、短距離離着陸の試験機、飛鳥に使用されたFJR710、国際共同開発のボーイング777用のGE90、エアバス320用のPW1100、その他数々のジェットエンジンの開発に、生産技術の技術者として参加できたことはとても幸せな事でした。



昨年開催された東京オリンピック・パラリンピックのそれぞれの開会式の際には、富士山をバックに入間基地を離着陸する飛行隊の送迎を我が家の屋上からしました。

東京會工会の活動が百十周年を迎える年にあたり、役員皆様方の並々ならぬ努力と、遠く故郷を離れても郷土と母校愛を育まれた会員の皆様の結果だと、お祝い申し上げます。
 また、皆様には私のCD販売に関して、多大なご協力を賜り有り難うございました。コロナ禍の大変な時期にも拘わらず、何とか好調で販売させて頂いております。今年の一月からは、カラオケボックスのジョイサウンドにも入りましたので、是非覚えて唄っていただきたいと思えます。題名は『会津の士魂・ど根性』です。歌手名に私の



小倉 喜久男
(42年C卒)

東京會工会
創立百十周年に寄せて

F15用のF100エンジンの時は、ライセンスの技術習得のために、アメリカに長期間出張したことも楽しい思い出です。
 子供の頃からの夢、「飛行機に関する仕事がしたい」をほぼ希望通りに、それも六十八歳までの長きに亘り実現出来たことは、この上ない喜びであります。

詩吟の雅号『小倉喜岳』を入力し、検索して頂ければ出てきます。
 唄を覚えていない方は、最近YouTubeにも載せましたので、小倉喜岳で検索して頂ければ出てきます。是非覚えて頂ければと思います。歌詞の中に鶴ヶ城、什の掟、磐梯山、起き上がり小法師も入れていますので、故郷を偲ぶことができますと思います。
 私の会工時代のクラブ活動・合唱部から始めた趣味の音楽活動は、理科大時代にバイオリン演奏。会社入社後は詩吟・民謡・三味線・琵琶等邦楽を主体に変化していきました。
 大学は夜学のためか、仕事を終えての余暇の時間を自分の好きな事に費やしたい気持ちだが、趣味を充実させ、好



きこそのもの上手なりで、師匠にも恵まれ、楽しく、生き甲斐にもなり、没頭するようになりました。

『芸は身を助ける』諺通り、いろんな場面で助けられました。その一例を紹介します。

一九八八年から四年間、仕事でアメリカに駐在し、アトランタ郊外のコンヤーズの田舎町に住んでいました。毎年春には桜祭りが開かれ、舞台では地域の子供や大人のダンスやコーラス、楽器演奏等が行われました。日系企業の模擬店・バザー等もあり、約一万人の人が集まります。私にも声がかかり、三味線演奏。二年目は会社のアメリカ人四名を加えて、日本民謡の弾き語り。三年目はアメリカ人八名のバスケットで斎田郎節を。地元の新聞にも大きく載りました。

海外での仕事は、現地従業員との意思疎通が重要で、仕事上の付き合い以上に人間として、自分は、こよなく日本文化を愛し、唄と楽器が好きなことをアピールすると、それに同調してくれる多くの現地友人が出来、生活面、仕事上でも助けられました。

また、タイ国駐在時代には、タイの映画会社から話があり、日本人とタイ人の戦時中の悲恋物語で、三味線を弾いて頂きたいとの依頼でした。仕事に支障のない範囲で協力し、映画全体の日本音楽を担当しました。その映画は一九九五年のタイ映画で、多くの賞を頂いた映画になりました。現在もユ-

チューブで【クーカム】Sunset at Chaoprayaで観ることが出来ます。私の役目は、主人公に三味線の弾き方を教え、実際の音は私が演奏し作成しました。

劇中、黒田節の演奏や同期の桜の唄も担当し、当時のタイ国内では一躍有名な映画となりました。

主人公はトンチャイというタイでもかなり有名な俳優で、歌手でもありません。彼と映った写真を見せるだけでも得意先の商談にはかなり役に立ち、微力ですが日本文化を海外に紹介する事が出来ました。

仕事を怠けていた訳ではありませんが、趣味を活かしながら、厳しい海外駐在でも多くの友人もでき、趣味の一芸に助けられた例を紹介しました。



主人公に三味線指導



創立百周年からの歩み

◆平成二十三年度(二〇二一年)

○四月二十日(水)

「東京會工会だより」十三号発行

○五月二十一日(日)茅ヶ崎西海岸

地引き網 東日本大震災により中止

○六月十八日(土)

「東京會工会百周年記念誌」発行

○六月十八日(土)上野精養軒百十八名

東京會工会百周年記念総会

○九月三日(土)鎌ヶ谷市大山園

梨狩り 台風十二号で中止

○九月十四日(水)栃木が丘GC 十九名

第二十二回東地区ゴルフコンペ

○十月二日(日)登戸・大黒屋 五十名

芋煮会

○十月十八日(土)会津若松いづみや

会工同窓会総会

○十一月十一日(金)御殿場GC 十四名

第九回西地区ゴルフコンペ

○一月二十一日(土)浅草漁民荘二二名

顧問・役員合同役員会

○二月二十九日(水)

会工同窓会入会式 記念タオル贈呈

◆平成二十四年度(二〇二二年)

○四月二十日(金)

「東京會工会だより」十四号発行

○六月十日(日)茅ヶ崎西海岸六十八名
地引き網

○六月十六日(土)上野精養軒七十七名
平成二十四年度総会

・役員改選実施、会長・副会長・幹事長他一新される

○九月八日(土)鎌ヶ谷大山園三十五名
梨狩り

○九月十二日(水)栃木が丘GC 十六名
第二十三回東地区ゴルフコンペ

○十月七日(日)登戸・大黒屋 五十名
芋煮会

○十月二十日(土)会津工業
会工百周年式典

○十月二十日(土)若松いづみや
会工同窓会総会

○十一月九日(金)御殿場GC 十三名
第十回西地区ゴルフコンペ

○一月十九日(土)浅草漁民荘二十一名
顧問・役員合同役員会

○二月二十八日(木)
同窓会入会式 記念タオル贈呈

○三月一日(金)
会工卒業式

◆平成二十五年(二〇二三年)

○四月二十日(土)

「東京會工会だより」十五号発行
○五月十八日(土)茅ヶ崎西海岸六十八名
地引き網

○六月十五日(土)上野精養軒七十六名
平成二十五年度総会

- 七月三十日(火)
東日本大震災義援金、若松に寄贈
- 九月七日(土)鎌ヶ谷市大山園二四名
梨狩り
- 九月十一日(水)栃木が丘GC十八名
第二十四回東地区ゴルフコンペ
- 十月六日(日)登戸・大黒屋四十一名
芋煮会
- 十月十九日(土)會津工業
松江春次記念館落成式
- 十月十九日(土)若松いづみや
会工同窓会総会
- 十一月十五日(金)御殿場GC十五名
第十一回西地区ゴルフコンペ
- 一月十八日(土)四谷クラブ二十四名
顧問・役員合同役員会
- 二月二十八日(金)
同窓会入会式 記念タオル贈呈
- 三月一日(土)
会工卒業式

◆平成二十六年(二〇一四年)

- 四月二十日(土)
「東京會工会だより」十六号発行
- 六月十四日(土)茅ヶ崎西海岸五六名
地引き綱
- 六月二十一日(土)精養軒六十八名
平成二十六年度総会
- 九月六日(土)鎌ヶ谷大山園二十七名
梨狩り
- 九月十日(水)新千葉CC 二十二名
第二十四回東地区ゴルフコンペ
- 九月二十一日(日)湘南台弁慶果樹園
- 二月二十九日(月)
同窓会入会式 記念タオル贈呈
- 三月一日(火)
会工卒業式
- 四月二十日(月)
「東京會工会だより」十七号発行
- 六月六日(土)茅ヶ崎西海岸七十四名
地引き綱 悪天候予報で中止
- 六月二十日(土)上野精養軒七十一名
平成二十七年(二〇一五年)総会
- 九月二日(水)新千葉CC 十九名
第二十六回東地区ゴルフコンペ
- 九月五日(土)鎌ヶ谷大山園二十四名
梨狩り
- 九月二十六日(土)湘南台弁慶果樹園
- 十月十七日(土)若松いづみや
会工同窓会総会
- 十一月六日(金)御殿場GC 十三名
第十三回西地区ゴルフコンペ
- 一月二十三日(土)四谷クラブ二二名
顧問・役員合同役員会

◆平成二十七年(二〇一五年)

- 二月二十九日(月)
同窓会入会式 記念タオル贈呈
- 三月一日(火)
会工卒業式
- 四月六日(水)新千葉CC 二十一名
第二十七回東地区ゴルフコンペ
- 四月二十日(水)
「東京會工会だより」十八号発行
- 六月十八日(土)上野精養軒六十六名
平成二十八年度総会
- 九月三日(土)鎌ヶ谷大山園二十三名
梨狩り
- 九月二十四日(土)湘南台弁慶果樹園
- 十月十五日(土)若松いづみや
会工同窓会総会
- 十一月十一日(金)御殿場GC 十二名
第十四回西地区ゴルフコンペ
- 一月二十一日(土)四谷クラブ十七名
顧問・役員合同役員会
- 二月二十八日(火)
同窓会入会式 記念タオル贈呈
- 三月一日(水)
会工卒業式

◆平成二十八年(二〇一六年)

- 四月二十日(木)
「東京會工会だより」十九号発行
- 五月二十七日(土)ソーシアル棋苑
第一回囲碁将棋大会 三名
- 六月十七日(土)上野精養軒七十三名
平成二十九年度総会
- 九月二日(土)鎌ヶ谷大山園二十一名
梨狩り
- 九月三十日(土)湘南台弁慶果樹園
- 十月二十一日(土)若松いづみや
会工同窓会総会
- 十一月十日(金)御殿場GC 十二名
第十五回西地区ゴルフコンペ
- 一月二十日(土)四谷クラブ十五名
顧問・役員合同役員会
- 二月二十八日(水)
同窓会入会式 記念タオル贈呈
- 三月一日(木)
会工卒業式
- 四月四日(水)新千葉CC 十七名
第二十九回東地区ゴルフコンペ
- 四月十日(月)
会工入学式
- 四月二十日(金)
「東京會工会だより」二十号発行
- 五月二十六日(土)ソーシアル棋苑
第二回囲碁将棋大会 六名
- 六月十六日(土)上野精養軒・六七名
平成三十年度総会
- 九月一日(土)鎌ヶ谷大山園二十二名

◆平成三十年(二〇一八年)

梨狩り

○九月三十日(土)湘南台弁慶果樹園

芋煮会・葡萄狩り&BBQ 二十八名

○十月二十日(土)若松いづみや

会工同窓会総会

○十一月二十六(金)富士平原GC 十二名

第十六回西地区ゴルフコンペ

○一月十九日(土)四谷クラブ 二十名

顧問・役員合同役員会

○二月二十八日(木) 同窓会入会式 記念タオル贈呈

○三月一日(金) 会工卒業式

○三月二十九日(金)相模CC 十一名

第三十回東地区ゴルフコンペ

◆平成三十一年度(二〇一九年)

○四月二十日(土)

「東京會工会だより」二十一号発行

○五月二十五日(土)しんぎ棋苑 四名

第三回囲碁将棋大会

○六月十五日(土)上野精養軒六十八名

平成二十九年総会

○九月七日(土)鎌ヶ谷市二十一名

梨狩り

○九月三十日(土)湘南台弁慶果樹園

芋煮会葡萄狩り&BBQ 三十一名

○十月二十一日(土)若松いづみや

会工同窓会総会

○十一月十日(金)富士平原GC 九名

第十七回西地区ゴルフコンペ

○一月十九日(土)四谷クラブ 十五名

○二月二十八日(水)

同窓会入会式 記念タオル贈呈

○三月一日(木) 会工卒業式

○三月二十七日(金)相模CC 八名

第三十一回東地区ゴルフコンペ

◆令和二年度(二〇二十年)

○四月二十日(月)

「東京會工会だより」二十二号発行

○五月二十五日(土)ソーシアル棋苑・

第四回囲碁将棋大会 【中止】

○六月二十日(土)上野精養軒

令和二年度総会 【中止】

○九月五日(土)鎌ヶ谷市大山園

梨狩り 【中止】

○九月二十七日(土)湘南台弁慶果樹園

芋煮会葡萄狩り&BBQ 【中止】

○十月十七日(土)若松いづみや

会工同窓会総会 【中止】

○十一月二十三日(金)富士平原GC

第十八回西地区ゴルフコンペ 【中止】

○一月十六日(土)四谷クラブ

顧問・役員合同役員会 【中止】

○二月二十六日(金)

同窓会入会式 クリアファイル贈呈

○三月一日(月) 会工卒業式

○三月二十六日(金)場所未定

第三十二回東地区コンペ 【中止】

◆令和三年度(二〇二二年)

○五月二十日(木)

「東京會工会だより」二十三号発行

○五月中旬 場所未定

第三十二回東地区コンペ 【中止】

○五月二十二日(土)ソーシアル棋苑・

第四回囲碁将棋大会 【中止】

○六月十九日(土)上野精養軒

令和三年度総会

創立百十周年記念総会 【中止】

○七月十四日(水)会津工業

会工創立百二十周年記念事業実行委

員会

○九月四日(土)鎌ヶ谷市大山園

梨狩り 【中止】

○九月二十六日(日)湘南台弁慶果樹園

芋煮会葡萄狩り&BBQ 【中止】

○十月二十日(土)会工鶴翔会館

会工同窓会総会役員会

○十一月二十二日(金)富士平原GC

第十八回西地区ゴルフコンペ 【中止】

○十一月十一日(木)会津工業

会工創立百二十周年記念事業実行委

員会

○一月十六日(土)場所未定

顧問・役員合同役員会 【中止】

○二月十六日(水)会津工業

会工創立百二十周年記念事業実行委

員会

○二月二十六日(金) 【コロナ禍欠席】

同窓会入会式 クリアファイル贈呈

○三月一日(月) 【コロナ禍欠席】

都合で主要な部分だけ掲載しました。定例役員会は四月・七月・十一月・三月の年四回開催しています。地域同窓会の郡山・東海・近畿會工会とは総会時、毎年相互交流をしています。また、在京会津高校と若松商業高校同窓会とは総会時、毎年相互交流を行っています。

《ミニミニ情報》

二〇二二年四月「電気情報科」が新設されました。それに伴い「電気科」「情報技術科」の生徒募集が停止されました。二〇二三年三月で「電気科」「情報技術科」は廃科となります。科編成は、「建築インテリア科」「セラミック化学科」「機械科(一組・二組)」「電気情報科」の四科五クラスです。一クラスは四〇名。

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 24 T 五十嵐栄氏 (令和三年十月逝去)
- 32 K 岸 宗男氏 (令和三年四月逝去)
- 40 M 江川竹夫氏 (令和三年二月逝去)
- 40 M 大原雄三氏 (令和三年五月逝去)
- 26 E 菅家忠平氏 (令和四年二月逝去)
- 32 E 菅家忠佐氏 (令和三年三月逝去)
- 36 E 大滝 勝氏 (令和三年三月逝去)
- 41 E 荒井正喜氏 (令和二年十二月逝去)

役員をつぶやき

▼常任幹事 内芝 良吉(46年A卒)

テレビ番組で会津「大内宿」の後、いきなり「裏磐梯」での雪景色！位置説明は無し。情報の伝え方には、心が必要と再認識！

▼常任幹事 渡部 俊一(43年G卒)

七十三歳、現役で社会的な繋がりを維持し、人生百年時代「健康寿命」で頑張っています。

▼常任幹事 佐藤 賢一(43年G卒)

三月末付けで、日立栃木での現役・シニア・派遣と五十四年間の会社生活を終わります。感謝と満足感で一杯です。

▼常任幹事 大竹 光弥(46年C卒)

いつの間にか七十歳です。次の生きる目標を七十七歳と決めました。昭和四十六年C科の皆様、東京會工会を宜しく願います。

▼常任幹事 坂本 栄吉(40年A卒)

私は西地区ゴルフコンペの幹事です。毎年十月末に宿泊込みで開催しています。前夜祭で会員の親睦を深めております。皆様の参加をお待ちしています。

▼会計幹事 鈴木 邦男(40年M卒)

平成二十二年四月の百周年桜植樹完工記念式典より会計担当、行事毎に寄付寄贈品のご芳志戴き感謝申し上げますと共に、良き文化、伝統の継承へ引き続きご協力お願いします。

▼会計幹事 内川 義則(43年E卒)

COVID-19感染の収束とマスク無での対面会合が出来る日を待ち望んでいます。

▼副幹事長 渡部 雅俊(44年M卒)

私が東京會工会に初めて参加したのが、六十歳の声を聞く頃でした。特にリタイアしてからは同窓生の集いを楽しんでいます。皆様の参加をお待ちしています。

▼副幹事長 中島 政彦(41年G卒)

私が初めて参加した行事は、登戸で開催された芋煮会でした。会津弁が飛び交う楽しい雰囲気魅了されたから二十年、絆が大事です。

▼幹事長 戸野部 武彦(40年M卒)

待合せ場所でも判るのは東京駅の『銀の鈴』（四代目）。東京會工会は六月第三土曜日上野精養軒。同窓生が待っています。母校ホームページの同窓会も宜しく願います。

▼副会長 堀 雅宏(36年E卒)

二年前にサルコペニア(筋肉劣化症)

令和3年度決算(案)

自 令和3年4月1日～至 令和4年3月31日

収入総額 748,177
支出総額 366,706
次年度繰越金 381,471

収入の部	令和3年度予算	令和3年度決算	比較増減	R4.3.31 備考
年会費	200,000	284,000	84,000	142口
同窓会助成金	100,000	100,000	0	
寄付金	100,000	194,000	94,000	
総会費	575,000	0	△575,000	中止
囲碁・将棋大会費	10,000	0	△10,000	中止
梨狩り会費	60,000	0	△60,000	中止
ゴルフ大会会費	130,000	0	△130,000	中止
芋煮会&ぶどう狩り会費	90,000	0	△90,000	中止
顧問・役員合同新年会費	90,000	0	△90,000	中止
雑収入	25	2	△23	貯金利息
前年度繰越金	170,175	170,175	0	
収入合計	1,525,200	748,177	△777,023	

収入：決算-予算=減(△)

支出の部	令和3年度予算	令和3年度決算	比較増減	備考
会報「東京會工会だより」	50,000	42,606	△7,394	B頁・400部、総会資料300部
通信印刷費	80,000	50,385	△29,615	
役員会会議費	10,000	7,800	△2,200	逸草文化観光センターR3・3回、R4・1回分
地方・他校同窓会参加費	160,000	45,000	△115,000	母校120周年記念準備委員会他
記念品	0	81,994	81,994	クリアファイル2,000部
事務局費	120,000	120,000	0	
事務消耗品	10,000	8,921	△1,079	Copy代、ビュアバック&角2封筒
総会費	595,000	0	△595,000	中止
囲碁・将棋大会費	10,000	0	△10,000	中止
梨狩り費	60,000	0	△60,000	中止
ゴルフ大会費	130,000	0	△130,000	中止
芋煮会&ぶどう狩費	90,000	0	△90,000	中止
顧問・役員合同新年会費	90,000	0	△90,000	中止
慶弔費	0	10,000	10,000	弔金(38M・佐藤利秋幹事)
小計(支出総額)	1,405,000	366,706	△1,038,294	
次年度繰越金	120,200	381,471	261,271	
支出合計	1,525,200	748,177	△777,023	

支出：決算-予算=減(△)

編集後記

という老人病になってしまいました。今はウォーキングとストレッチ・筋トレ等と、栄養(タンパク質)で回復しました。気力と工夫(考えること)が大切だと思えました。

多くの投稿有り難うございました。次号も皆様の声を掲載していきます。自慢話でも何でも結構です。一頁二百(千九百)文字、半ページ千(七百)文字でお願いします。○内は写真一枚有の場合です。返信ハガキのコメントも宜しく願います。

(田中記)